

【平成16年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	ITスキルとコスト管理能力を併せ持つ融合型人材短期育成プログラム開発		
学校法人名	学校法人 情報総合学園		
学校名	長崎ITビジネス専門学校		
代表者	理事長 音成 征彦	担当者・連絡先	長橋 マキ 0957-55-8500
<p><事業の概要></p> <p>当事業では、コンピュータを活用し、Officeソフトを組み合わせた使用方法、及びデータの連携など効率化を図るワーキング能力が身につくITスキルと、コスト管理能力を身につけるための簿記知識を習得し、コスト意識を高め、コミュニケーション能力を融合させた就業に結びつくカリキュラムの開発を行いました。</p> <p><成果></p> <p>成果物としては、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査分析報告書 全国の企業 2270社を対象に若者に求める人材ニーズ、スキルレベルを把握するためのアンケート調査を実施し、その結果を分析して報告書としてとりまとめました。 2. 開発カリキュラム 調査分析報告書から、企業が求める人材ニーズ、スキルレベルに適合したカリキュラムの開発を行い、以下の項目としました。 【ITスキル】は、ソフトウェアやハードウェアなど実際に業務で使用されているものを事例として学習します。また、ネットワーク構成や通信手段・通信費用に至るまで現在の実例を元にした学習および、ウィルス対策や情報漏洩など今後のIT社会に必要な要素を取り入れた学習を行います。全体を通じて、文書処理・表計算・データベース・メーラー・ブラウザなどの総合的な利用技術を習得します。 【コスト管理】は、日々の仕訳から財務諸表の作成まで会社の経理における一連の流れと処理の仕方を習得します。また、原価の構造と利益のしくみを理解し、コストと利益を総合的にとらえる力を習得した上で、コストダウンの進め方とコスト別のポイントについて学習します。 【就業とコミュニケーション】は自己マネジメントや一般常識、また上司や部下、社員と顧客等の関係の中で求められるコミュニケーションやビジネスマナー等をゲームなどを通じて受講生同士が交流を持つことにより、意識の向上を図ります。さらに実務に結びつくよう就業場面を想定した実技を行いながら、ビジネスワークの基礎を身につけます。さらに『働くこと』が社会や個人、企業にとってどのような意味を持っているのかをグループ討議を行いながら考えることで就労意義について学習します。 【バーチャルJOB】は会社の業務を想定し、それぞれの部門に分かれたグループワークを行うことで、各個人が主体的に業務に取り組む必要性や自主性を身につけます。また、各科目を融合させた実務に沿った擬似演習を行い、今まで学んできた知識と技術を活用することで、実社会で通用する力を身に付けます。 3. 実証講座及び成果報告会の調査アンケート結果集計報告書 専修学校生、高校生を対象に実施した実証講座後の調査アンケート結果で、受講生側からは学校で習得できなかったカリキュラム内容であり、社会で役立つとの評価を得ました。また、成果報告会を実施し、それに対するアンケートをとり、成果報告書を取りまとめました。 			